

事業の背景・目的

- ・ 都城市（以下「当市」という。）において、国カテゴリーCR絶滅危惧ⅠA類に分類されるキリシマイワヘゴが令和2年3月に1株同定された。キリシマイワヘゴは、当市及び宮崎県内において、一旦絶滅とされていたものが再発見されました。
- ・ 当市には、他にも希少な野生動植物が生育・生息しており、キリシマイワヘゴをはじめとする希少な野生動植物とこれを育む自然環境を「地域の宝」として、保全していきます。

事業の内容

事業① 希少野生植物保全事業

- ・ 増殖していくため、有識者等と協力し、自生地において孢子の採取から、育成、植え付けの方法等について、アドバイス等をいただき、孢子の一部を研究のために提出した。

事業② 希少野生植物生息地保護事業

- ・ 令和4年9月に発生した台風による被害があったため、破損している保護柵は修繕し、保護柵周辺の草木等を伐採した。

事業③ 普及啓発事業

- ・ 小中学生への環境学習として、公共施設において勉強会を行った際の資料として活用した。保護者も資料を持ち帰るなど来場者からの反響が大きかった。

事業①



事業②



得られた成果

本事業を通じた保護柵設置により、従来のシカによる食害がなくなり、キリシマイワヘゴの維持管理が十分にできている状況です。今後も定期的な維持管理を通じて、キリシマイワヘゴを保全していきます。

なお、キリシマイワヘゴは、当市で1株しか発見されていませんでしたが、本事業を通じて新たに2株発見しました。保護しなければならない希少野生植物に保護柵を設置することで、保全に繋がっております。令和5年度以降も引き続き、キリシマイワヘゴ保全再生を目的とし、増殖事業を実施していきます。

また、市内の小中学生に対して、キリシマイワヘゴを始めとした当市の希少野生動植物について興味を持ってもらうために、パンフレット等を作成し、当市に存在する希少野生動植物の希少性等についても周知を行っていきます。